



一般会計補正予算など可決 教育委員会委員再任同意

九月定例会議が九月二十五日から二十七日まで開かれ、初日は一般質問に三名の議員が、在宅福祉サービス、国道49号線の歩道改良事業、村民体育施設の用地確保、取付道路及び道路整備、酒屋線一小杉自転車道除雪対策、自転車小屋の設置について村長の考えをたてました。

続いて、村長提出の平成二年度水道事業会計決算・同剰余金の処分についてと新潟水俣病問題に関する請願は、審議の結果、常任委員会に付託されました。

また、補正予算や村道路線の認定・条例改正については議案審議が行われ、可決されました。

最終日の二十七日は、教育委員会委員の任命についての人事案件が同意され、付託されました。



■平成二年度水道事業会計決算の認定(別掲5P)

■一般会計補正予算(第三号)

歳入予算の総額に六、五五四万六千円を追加、一三〇万六千円減額し、歳出予算の総額に六、三三四万五千四百七十七円をしたもの、

■村道路線の認定

横越村監査委員条例の全部を改正する条例

■教育委員会委員の任命

九月三十日任期満了に伴い横越の中川国保氏(60)が再任されました。

ご厚志に感謝

敬老の日にならぬ長寿者へのお祝いに、横山寝具店より座布団35枚を村社会福祉協議会に寄贈いただきました。ご厚志に感謝します。

納期までに忘れずに納めましょう

10月の納税等

村県民税 3期
国民健康保険税 4期
国民年金保険料 7期 (10月分)

農産物加工施設竣工

大豆のみを加工施設などを導入した横越村農協の特産物加工施設が、九月十一日二本木にオープンした。

この施設は、農協の旧二本木支所を改装したもの。

施設は、村内の農産物加工研究グループや農業生産組合に貸し出され、農協では、みそに加工することで、付加価値を高め、横越の大豆も商品化していきたい」と期待を寄せている。

合同相談所の開設

十月十三日から十九日まで行政相談週間です。今年も行政相談をはじめ、人権や心配ごとなどの合同相談所を開きます。

少しくとも困っていること、または、納得がいけないことなど相談のある方は、この機会にぜひご利用下さい。

日時 十月十七日(木) 午前10時～午後3時

場所 横越村役場 多目的ホール

▽相談担当者 行政相談員 人権擁護委員 法務局職員 民生委員

「なんでも相談」のご利用を

10月20日(日)

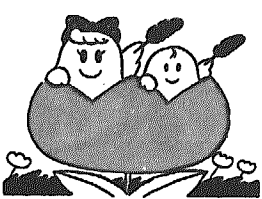
午前9時～午後4時 役場村長室

建設工事入札結果

1. 工事名	横越村公共下水道管渠敷設0-23工事	横越村公共下水道管渠敷設0-24工事	横越村公共下水道管渠敷設0-25工事	村道219-110号線側溝改修工事
2. 工事場所	横越地内	横越地内	横越地内	横越地内
3. 入札日	7月26日	7月26日	7月26日	8月28日
4. 入札業者	6業者	6業者	6業者	8業者
5. 落札額	2,030万円	2,020万円	2,380万円	575万円
6. 落札者	高木組	藤田建設(株)	(株)田中組	日絃土木工業(株)
7. 工期	3.7.26~3.12.22	3.7.26~3.12.22	3.7.26~3.12.22	3.8.28~3.10.26

税金は 住みよい社会の 原動力 (横越・山城憲治)

赤い羽根共同募金 平成3年度 募金目標額 2,447,000円



今年も十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

今年の村の募金目標額は、赤い羽根で一八九万七千円と歳末たすけあいの五五万円を合せますと、二四四万七千円となっております。

今年も自治会などを通じてみなさんに共同募金のご協力をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

中学校グラウンド開き

横越中学校施設整備事業のうち、昨年の陸上競技場に続いて、球技場新設工事が完工し、九月六日グラウンド開きが行なわれました。

新設された球技場は約一万二千平方メートル、バックネットもつくり両翼各九十メートルの本格的な野球場として、また、外野はサッカーなどに利用できる。総工費は陸上競技場と球技場合わせて一億八百万円。

救急車出動状況

◆8月の出動件数 7(48)

主な出動原因	交通事故 3(16)	一般負傷 0(7)	急病 4(25)
--------	------------	-----------	----------

() は4月以降の累計

人材育成助成事業の活用を 国内十万円、国外二十万円を限度に助成

村では、ふるさと創生事業の一環として、村民等が国内外においての研修、調査及び研究等(以下「研修等」という。)を行おうとする場合にその研修等に要する経費を助成し村の発展をめざす各分野の人材育成を図ることを目的に人材育成研修助成事業をつくりました。

積極的に活用して下さい。なお、対象者等については

〈助成の対象者〉

- 村に居住している者、又は村内の事業所に勤務する者で村長が適当と認めた者。
- 但し、小中学生・高校・大学生は除く。
- 研修の期間は、おおむね五日以上一月未満。
- 但し、村長が特に必要と認められた場合は、この限りでない。

〈助成の対象事業〉

- 産業振興に必要な知識・技能。
- 農業・商工業者における経営方法、実践的技術等。
- 福祉や生活環境整備等の充実に必要な知識、技能。
- 学術・文化・芸術・スポーツ等の振興に必要な知識、技能。
- その他、村の将来の発展に資すると認められる活動又は事業に必要な知識及び技能。

以上、各事業の知識・技能の修得・調査・研究等のための研修。

〈助成する経費〉

- 受講料又は参加費。
- 宿泊費。
- 交通費。
- 調査・研究等のための経費。

〈助成額〉

- 助成する経費の額は、国内研修の場合は、十万円、国外研修の場合は、三十万円を限度とし、研修等に要する経費の二分の一以内。

但し、村長が特に必要と認められた場合は、この限りでない。

〈申込み方法〉

- 人材育成研修助成申請書を村長に提出する。
- 〈選考方法〉
- 研修者の選考は、庁議で審査する。
- 〈研修者の心得〉
- 村長が指示した場合、村が主催する事前研修に参加する。
- 研修終了後三十日以内に人材育成研修報告書を提出する。

全国防犯運動

この運動は、

- 暴力団放(暴力団の排除)
- 少年の非行防止
- 侵入盗の防止

を重点として、地域の皆さんの防犯意識の高揚を図り、安全で住みよい地域社会を作ることを目指す。

地域の皆さんと関係機関、団体、警察が一体となった防犯運動を皆さんで盛り上げ、犯罪等の被害に遭わないよう十分注意しましょう。

〈暴力団放〉

暴力を根絶するために

- 暴力団を恐れぬ
- 暴力団には金を出さない
- 暴力団には金を出さないという、「暴力三不運動」を推進し、暴力団の脅しや嫌がらせに泣寝入りすることなく、みんなで暴力を地域から追放しましょう。

〈少年の非行防止〉

少年の健全な育成にとって好ましくないポルノ雑誌等の有害な出版物、映画、広告や少年非行のたまり場となりやすい有害環境の浄化活動に協力しましょう。

〈侵入盗の防止〉

南警察署管内で一、七月までの間に九十三件の侵入盗が発生しています。

- 留守にするときは、確実に戸締りをしましょう。
- お隣にも、ひと声かけて出かけてみましょう。

平成二年度 水道事業会計決算 一、八四九万円の繰越

九月定例会議会で平成二年度水道事業会計決算が認定されました。

収益的収支においては、給水収益が増加したが、受託工事収益が減少したため、当年度の純利益は、対前年度比五・三％減の一、八四九万円となりました。

また、資本的収支では、収入は、企業債七、七〇〇万円工事負担金三、一七七万円の計一億八七七万円に対して、阿賀野川浄水場建設改良及び拡張事業負担金、配水管布設工事、固定資産購入費等の建設改良費に一億一、六三三万円、企業債償還金に一、一〇五万円の合計一億二、七四〇万円を支出しました。

支出に対する収入の不足額は、過年度分損益留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額で補填しました。

平成二年度 家畜診療所
特別会計決算

直営一年目を迎えた家畜診療所は、これまでの委託獣医師の開設に伴い、新潟市、京ヶ瀬村の一部が減ることになり当初予算を減額した。

しかし、診療所の健全運営を図るため、平成二年度も新潟地域農業共済組合、横越村農協、村酪農組合の協力のもと、診療収入も順調な伸びで前年を上回る三九七万円を繰越しました。

なお、総診療件数は、五八五件、病気件数七八〇件、その他二〇八件となっています。

平成二年度 家畜診療所 特別会計決算

診療収入 8,655万円 (54.3%)

診療所費 6,685万円 (65.9%)

診療所運営基金費

診療収入 1,970万円 (22.7%)

診療所費 3,283万円 (27.4%)

診療所運営基金費

診療収入 1,620万円 (10.2%)

診療所費 2,000万円 (16.7%)

診療所運営基金費

一般計繰入金 1,000万円 (6.3%)

分損金 2,000万円 (12.5%)

平成二年度 家畜診療所 特別会計決算

診療収入 8,655万円 (54.3%)

診療所費 6,685万円 (65.9%)

診療所運営基金費

診療収入 1,970万円 (22.7%)

診療所費 3,283万円 (27.4%)

診療所運営基金費

診療収入 1,620万円 (10.2%)

診療所費 2,000万円 (16.7%)

診療所運営基金費

一般計繰入金 1,000万円 (6.3%)

分損金 2,000万円 (12.5%)

平成二年度 家畜診療所 特別会計決算

診療収入 8,655万円 (54.3%)

診療所費 6,685万円 (65.9%)

診療所運営基金費

診療収入 1,970万円 (22.7%)

診療所費 3,283万円 (27.4%)

診療所運営基金費

診療収入 1,620万円 (10.2%)

診療所費 2,000万円 (16.7%)

診療所運営基金費

一般計繰入金 1,000万円 (6.3%)

分損金 2,000万円 (12.5%)

